

学びを育む武蔵野市の生涯学習

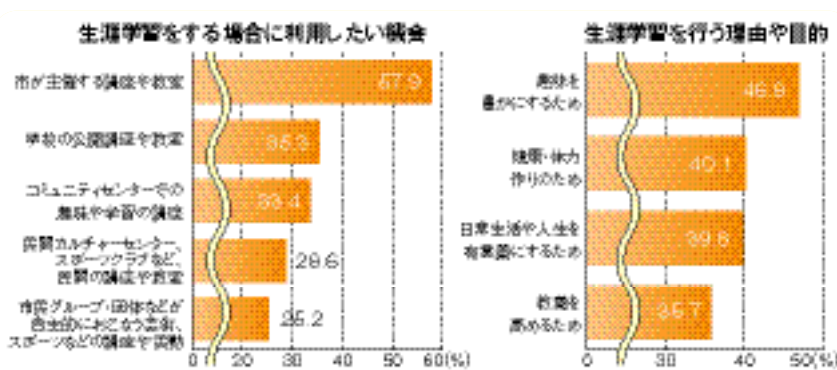
多彩な学びの環境を醸成

武蔵野市教育委員会では、「武蔵野市生涯学習計画」を平成22年4月に策定しました。計画に基づき市民が「学びたい」と思ったときに応える学びの場を用意し、その後も学びを継続できるように環境整備を進めています。

平成23年7月には、生涯学習など4つの支援機能を持った武蔵野プレイスがオープンし、青少年や社会人といった、これまで公共サービスの利用が少ないといわれる年代に向けた生涯学習の情報発信や支援の拡充を行っています。また、年代や生活環境の段階といった「ライフステージ」だけでなく、人それぞれの生き方である「ライフスタイル」の多様化にも応えられるよう、学習手段やテーマなどの充実に努め、あらゆる市民を対象とした生涯学習活動への参加機会の充実に努めています。

武蔵野市は、大学や研究機関など豊富な知的資源に恵まれ、音楽や演劇の拠点となる独自のカルチャース

ポットも数多くあります。これらの地域資源を市民の学びに生かし、「武蔵野市らしい」生涯学習事業を今後展開していきます。



出典：平成20年度 武蔵野市生涯学習市民意識調査

武蔵野市生涯学習計画 5つの重点施策

武蔵野プレイスにおける機能連携

生涯学習関係団体活動支援の充実

多様な事業主体との連携推進

生涯学習情報の共有化

武蔵野らしい文化の醸成

生涯学習計画では、「ともに学びつなぎあう、ひとまち文化」を基本理念とし、その実現のために学びを育む基礎づくり、多様に学ぶ機会の拡充、学びの成果の共有など、6つの基本目標を掲げています。さらに生涯学習が市民の皆さんによって自主的・自律的に行われるように、5つの重点施策を定めています。誰もが多様な学びを生涯にわたって続けることができるよう、



武蔵野プレイスで自由大学講座を開講

武蔵野らしい文化の発信へとつながる生涯学習活動を推進しています。

武蔵野プレイスにおける機能連携

複数の機能が連携する『場』

図書館、市民活動・青少年活動の場、そして生涯学習支援の場でもある武蔵野プレイス。学びに関する「情報提供」、参加するための「窓口」、講座の「開催」、さらに自己学習を促進する「図書館」、これらの機能すべてが武

蔵野プレイスという一つの施設に備わることで、有機的な結びつきが生まれ、広がりのある生涯学習の拠点となっています。足を運べば、必ず学ぶことへの刺激が受けられる場であり、また、教えたい人と教わりたい人がつながる場にもなっています。学びたいときに学べる場、それが武蔵野プレイスです。

体験者の声

武蔵野プレイスカリヤ養成講座 あつという間に 時間がたつ充実の内容

鈴木幸光さん 吉祥寺東町在住

社会人向けのスキルアップ講座があればと思っていた矢先に、市報で「武蔵野プレイスカリヤ養成講座」が開催されることを知り受講しました。コミュニケーション力を身に付けるという講座内容で、上手に相手から話を聞き出す方法や、プレゼンテーションの仕方などを、自分で体を動かしながら実践的に学ぶことができました。毎回1時間半の講義時間がとても短く感じられて、いつも次回が楽しみでした。充実した内容だったので、市内在住の友人たちにも受講を勧めたほどです。自分もまた気になる講座があれば受講したいと思っています。



図書館
図書展示、
シネマプレイスなど

武蔵野プレイス

境南町2-3-18
(武蔵境駅南口から徒歩1分)
☎0422-30-1905



青少年活動支援

音楽発表会、
中・高校生のための
学習・憩い
スペースなど

市民活動支援

市民活動フォーラム、
市民活動マネジメント
講座など

大人が楽しく学べる 武蔵野プレイス

市民活動に興味を持つ方のための「市民活動フォーラム」や高齢者を対象にした「いきいきセミナー」など、多種多様な講座を開催。また、社会人への生涯学習支援として「キャリア養成講座」や、武蔵野地域自由大学では大学で継続して専門的に学べる場を提供。また、ワーキングデスクでは個人学習ができるなど、複合的な機能を持つ武蔵野プレイスならではの“学びの先につながる”仕組みづくりを行っています。

※武蔵野地域自由大学の詳細はP19

知識を広げる入口は“図書館”

武蔵野プレイス地下2階から地上2階には、15万3000冊の蔵書と600タイトルの雑誌が配架され、地下1階にはインターネット検索やデータベースの資料検索も行えるスペースがあります。また、1階には雑誌閲覧ができるカフェを設け、地下2階にはティーンズライブラリーを設置するなど、フロアごとに幅広い世代が機能的に図書館を利用できるよう工夫しています。



生涯学習関係団体活動支援の充実

学習会・講演などを援助する
制度で団体をサポート

生涯学習活動を行う団体の自主性を尊重しながら、継続した活動を支援しています。市内で学習活動を行う社会教育関係団体が、広く市民が参加できる公開講座や講演会を活発に行えるよう、講師謝礼などの援助制度を設けています。また、学習活動の活性化のため研修バスの援助もあります。平成24年度からは、新しい団体支

援事業である「生涯学習事業プロポザル」を開始し、市民団体の力を生かしてともに講座を運営しています。

社会教育関係団体の活動

市民が中心となって活動している武蔵野市民交響楽団は、10代から80代までの幅広い世代が活動を行っています。市の支援を受けて管弦楽・吹奏楽・室内楽などの市民向けのコンサートを年7～8回開催しています。



学習団体の学びの場“武蔵野市民会館”



市民による学習団体の継続した活動を支援するために、学習室や音楽室、美術工芸室など多様な学びに対応した施設です。昭和59年の開館以来、市民の皆さんに愛され続けています。

生涯学習事業プロポザル

平成24年度から、生涯学習団体を支援する新しい仕組みとしてスタート。各団体から広く市民が参加できる企画を募り、市民を含む選考委員が内容を審査し、採用された団体に支援を行っています。



平成24年度採用企画講演会「国本 本田独歩の『武蔵野』から読みとく 今身近な自然と私たち」(武蔵野の森を育てる会)

多様な事業主体との連携推進

市民の期待やニーズに応えた
生涯学習機会拡充のための連携

時代の変化とともに、生涯学習へのニーズは多種多様に変化してきています。より効果的な生涯学習事業を行うためには、専門的なノウハウや機能を持つNPOや各種専門機関・事業団体との連携が欠かせなくなっています。「むさしのサイエンスフェスタ」もその一つ。小・中学校の先生をはじめ、大学、企業、NPOなどさまざまな団体が参加して、子どもたちに科学への興味を喚起します。市内の知りが結集する活気あふれるイベントとなっています。



昨年11月に行われたサイエンスフェスタ2012

生涯学習情報の共有化

情報をペーパーメディアや
電子情報でお知らせ

市民が生涯学習に関する情報を手軽に得られるよう、パンフレットやインターネットを活用した情報の共有化を行っています。平成22年度から発行している「大人のための生涯学習ガイド」では、市や関連団体、地域の大学、市民団体が行うさまざまな講座やイベントなどを紹介しています。



公益財団法人
武蔵野生涯学習振興事業団
武蔵野市文化・スポーツ生涯学習ネット
<http://www.musashino.or.jp/musashinonet.html>

武蔵野らしい文化の醸成

地域の歴史・自然・文化を考える

武蔵野市には、大学や研究機関などの多くの知的資源が集まっています。こうした資源を活用した「武蔵野らしい」学びの場が「武蔵野地域自由大学」です。市と、市内および周辺の五大学（亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学、日本獣生命科学大学、武蔵野大学）が連携して行うもので、入学試験や卒業はありません。約2000の大学正規科目の中から授業

を選択して学生と一緒に聴講することができるほか、自由大学が独自に設けた講座も開講されています。学習への意欲がある限り、いつまでも継続して専門的に学ぶことができる学習システムです。

また、市には長い歴史と豊かな文化、暮らしに根づいた自然があります。これらを学び、再発見できる講座として、文化財活用講座やむさしの発見隊など、地域資源を生かした学習の場を設ける取り組みを行います。

大学の「知」に触れる — 武蔵野地域自由大学 —

武蔵野市と地域の五大学が連携して、高度で継続的、体系的な生涯学習の機会を提供する学習空間です。「武蔵野地域全体がキャンパス」というキャッチフレーズのとおり、独自のキャンパスはなく、五大学構内と武蔵野市全域が学習スペースとなっています。

大学正規科目

各大学が社会人に開放する科目から学習を希望する講座を聴講できます。通年科目なら、4大学で最大12科目まで聴講可能です。

※東京女子大学は大学正規科目の開放はありません。

寄付講座

武蔵野市の寄付によって開設される特設講座。大学の正規科目と同様に、各大学で講座を提供しています。

五大学共同講演会/五大学共同教養講座

武蔵野ゆかりの文化人・学識経験者による基調講演と、各大学を代表する講師による講演。/各大学の多彩な教授陣による1大学4回、連続20回の教養講座です。

自由大学講座

自由大学の学生だけが受講できる、自由大学オリジナルの講座。毎回多彩な内容で開催されています。

大学公開講座

各大学が一般市民向けに公開している講座。随時、自由大学通信に講座情報を掲載しています。

自由大学学生の声

大人が勉強しやすい環境です



苦米地さやかさん
境南町在住

一昨年に武蔵野プレイスでの自由大学講座を受講しました。勉強の勢いについて翌年、大学正規科目でスペイン語講座を受講しました。大学に行くのは敷居が高く感じますが、学校には年配の方がたくさんいらしたので、臆することなく勉強に励むことができました。こんなに勉強しやすい環境なら、もっとほかの講座も受講すればよかったと後悔したほどです。武蔵野市にいるからこそできる大人の学び。今後どんな勉強ができるか、期待感でいっぱいです。

武蔵野地域学長懇談会が 20年を迎えました

市内および周辺の五大学の学長と武蔵野市長が参加する「武蔵野地域学長懇談会」が、今年で20年を迎えました。この懇談会の中で意見交換を行い、五大学共同講演会、五大学共同教養講座や、武蔵野地域自由大学の開学などを実現してきました。地域の「知」の拠点である大学との連携により、今後とも充実したカリキュラムを展開します。

東京中郡に学都が

武蔵野・三鷹・吉祥寺は、東京中郡の学園都市、側面を信じて指折る



日本獣生命科学大学
学長 池本卯典氏
(平成24年度：座長大学)

と、私の記憶では13大学ありました。学都といえは文京区、お茶の水水道橋・飯田橋・四谷駅界隈は東京東都、八王子市は東西都の学園都市。その中間、武蔵境・吉祥寺駅界隈に近在し連携する五大学は春か冬か、大学相克の季節と言われながら共に春です。「宝石の内部の光は見えない」、「見えるのは宝石が反射する陽光」は、詩人の一抄節。その見えない宝石を磨く楽しさと苦しさ、思索・模索の昨今であります。